

事業所名

児童くらぶ どりっぴ

支援プログラム（参考様式）

作成日

2024

年

9

月

30

日

法人（事業所）理念		障がいの有無にかかわらず、すべての子供に障がいがあっても、その家族がその人らしく生きる為に、休養や精神的ケア・就労の自由が約束される社会を目指します。また、地域全体で子どもを支援できるように、開かれた事業所を目指します。									
支援方針		安心・安全な居場所作り・楽しい療育の場・家族支援・どのような子どもでも利用できる・地域との連携を柱に、利用される子どもの成長を促すための支援に取り組んでいる。									
営業時間		(月～金)	10	時	0	分から	19	時	0	分まで	
		(土・祝・長期)	9	時	0	分から	18	時	0	分まで	送迎実施の有無
支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	利用時の体温測定、体調不良の有無の確認を行う。生活面では、身の回りの自立に向けて洗濯物干しや畳む、使った食器類を洗ったり事業所内の環境整備を一緒に行うことで、自分たちで使う場所をきれいにする気持ちを高め日常生活における自立に向けた取り組みを行っている。									
	運動・感覚	活動や行事を通して感覚統合（視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚）や運動機能（バランス力や体力アップ）の向上を図る取り組みを行っている。									
	認知・行動	行事や活動を通して児童に役割を提供し、その役割を実行する事で各々の責任感の向上に努めている。									
	言語 コミュニケーション	活動や普段の会話を通して相手に伝えたいことを話す力をつける。語彙力を増やす為の取り組みを行い会話力の向上を図る。 (例) ワードゲーム、文字並べ、かるた、人間すごろくなど)									
	人間関係 社会性	人間関係と社会性を育むために、苦手な事を仲間とともに乗り越える事や、楽しかったことを共有し合う事で人間関係を作っていく。 色々な公共機関を利用しルールやマナーを学び社会性を身に着ける。									
家族支援		家庭内での困り事を送迎時や電話等で確認し、その都度の状況に応じた対応を行っている。				移行支援					
地域支援・地域連携		地域の方との交流の場を増やし、地域の子どもたちと一緒に遊ぶ機会を増やす。				職員の質の向上		社内・社外研修等 事業所内での課題を明確にし、解決に向けての検討をその都度行う。			
主な行事等		季節に合わせての行事を大切に、四季折々の自然の景色やその中での感覚を楽しみ、感性や想像力を刺激する事で豊かな感情を感じれるように取り組んでいる。 (三社参り、登山、川遊び、親子レクリエーション、芋煮会、デイキャンプ、夕涼み会、伊田神幸祭、流しそうめん等)									